



長尾 義和

活輝ある能勢町の実現に向けて

令和4年4月、過疎地域に指定されてから1年8か月が経過する。

指定要件として、人口、

財政力から、となつてい

るが、人口の減少をいか

に食い止め、増加に転じ

させていくかがポイント

である。

住民の多くは、見える

まちの変化、活きいきと

輝く能勢町の実現に期待

している。

問 人口減少の主な要因

は何にあるのか。

答 日本全体の規模が縮

小する状況下において、

人口増加につながる施策

を講じることは非常に困

難であると認識してい

る。主な要因は意向調査

の結果に示されている。

問 企業誘致、産業誘致

の具体化について、現状

を問う。

答 現在、農林水産省主

催の農業参入フェアに参

加した企業が、標高が高

い天王地区の気候に興味

を持っており、生産技術

高度化施設の導入協議を

進めている。また、令和

4年度から産業誘致の候

補地の一つである大里、

宿野四区、柏原地域の農

第6次能勢町総合計画の策定に当たり 実施した住民の意向調査(抜粋)

問 今後も能勢町に住み続けたいか	
答 いずれ町外に移りたい、すぐにでも移りたい	20.50%
その理由は	
店舗や医療施設が少ない、生活に不便	57.10%
通勤や通学に不便	21.70%
問 高校・大学卒業後、能勢町に居住して就職したいか	
答 思わない	45.30%
その理由は	
働きたい企業がない、働く場が少ない	52.20%

地の地権者に説明会を開

催し、意向確認、地権者

によるまちづくり組織の

設立に向け取り組んでい

る。

問 道の駅、物産セン

ター駐車場は飽和状態に

ある。交通量や規模的に

見ても第2の道の駅、物

産センターを考えていく

時期だと思いがどうか。

答 従来から駐車場問題

の指摘を受けているが、

全体の面積が小さく次の

展開が難しい状況である。

人口が減少していく、

若者が減っていく、働く

ところがないなど、閉塞

感が漂う中にある、町

の中核的な活性化の施

設、将来的な展望につな

がる施設は必要であり、

検討をしている。

環境教育常任委員会報告

10月26日 懇談会

委員長 太田 祐介

令和2年2月の農地利用に関するアンケート調査結果を参考としながら、農地の保全、活用方法、新規就農者の受け入れについて議論をした。新規就農者の受け入れについて、地域おこし協力隊制度の活用事例を調査する。

11月24日 懇談会

地域おこし協力隊制度を活用した新規就農者の受け入れについて情報を共有した。地域おこし協力隊制度の基本的な部分をあらためて共有し、活用することについて議論をした。引き続き活用事例を調査するとともに、町でも検討している農業組織への事業提案を目標とし、担当課との議論を進めていく。

議会改革特別委員会報告

10月24日 開催

委員長 森田 則子

第11回 議会改革特別委員会を開催し、各作業部会で調査・協議を重ねてきたこれまでの総括と、今後の方向性について報告を受けた。

第1作業部会：議員定数について、第10回議会改革特別委員会にて、委員の意見を取りまとめる形で一旦審議を終了した。

第2作業部会：議会基本条例の検証について、今後は「議員問討議」を議題とし調査検討・審議していく。

第3作業部会：議会のICT化について、今後ICT化の環境整備等の財源確保の見通しができた段階で進める。